

『図書館だより』

9月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	④	5	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	⑮	16
17	⑱	19	20	21	22	⑳
24	㉕	26	27	28	㉙	30

○印 休館日
月曜日・祝日(15・23日)館内整理日(29日)

虫の音と涼やかな風が、季節の移り変りを告げています。

◆今月から『豆の木文庫』が再開します。都留文科大児童文化研究部の学生たちが、子どもたちの健やかな成長を願って、「本の読み聞かせ・お話・工作・歌」などを行っています。ぜひ一度でも多く参加していただき、子どもたちと一緒に楽しみながら、本の世界に入ってみませんか。なお、この文庫は土曜の午後に開かれますので、日程については図書館までお問い合わせください。

◆今月中の新作図書のお知らせ

◎一般図書

博物館の思想―梅棹忠夫対談集―
天皇代替り儀式の歴史的展開
吉野ヶ里―邪馬台国が見えてきた
マゼランが来た 本多勝一
清里・ハケ岳高原 JTB
アメリカン・スナップショット
信なくば立たず 三木睦子



「はてな？」で育つ子どもたち
アトピーっ子の育て方と心配ごと
飛行機王・中島知久平 豊田 穰
わたしも着たいメンズ・シャツ
4才〜12才の少女のヘアカタログ
野菜で作る簡単お菓子 主婦の友
ばらに贈る本 ―家庭の園芸―
リニア中央新幹線 白沢照雄
一億人の手塚治虫
美空ひばり 朝日新聞社
タカラヅカ・グラフィティ
児童文学へのいざない 原 昌

もう一つの万葉集 李 寧熙
おだやかな隣人 赤川次郎
ぼくといとこの甘い生活阿久 悠
メロンの気持ち 有明夏夫
リトルボーイ・リトルガール
夢の椅子 大原富枝
「青春小説」 清水義範
猫が届けた遺書 志茂田景樹
人斬り剣奥義 津本 陽
アンモナイトをさがしに行こう 干刈あがた
出町の柳 水上 勉
遠くの声を探して 山田太一
青山の青空 安西水丸
おくのほそ道・みちのく紀行
カンナのニューヨーク物語

甲府博

前売券を取り扱っています

一般	1,200円 当日 1,400円
高校生	800円 当日 1,000円
小・中学生	600円 当日 700円
幼児	300円 当日 400円



市役所総合案内へどうぞ

※問合先 都留市立図書館
(43) 1321 内線40番
一般図書 一八八冊
児童図書 六一冊
外四七冊
計

私のタイムライブラリー―芳村真理
長靴をはいた猫 E・マクベイン
南仏旅日記 スタンダール
エンペラーオブジェア ケイニン
外一五〇冊

◎児童図書

ムササビ大事件
星が光る四季の星座
三屋裕子の楽しいバレエボール
掛布雅之の楽しい野球
読書かんそう画のかきかた
きみにも読書感想文がかけよう
石からうまれた孫悟空
わすれないで ―第5福竜丸ものがたり―
ケッコーけだらけおれどろだらけ
いたずらいじわるおらやんた
ありがとう山のガイド犬「平治」
ぼくのうたきいて
こんとあき
ヒヨコ、ようこそ!

城下田原の秋元三代の治績

第四回 秋元但馬守泰朝(2)

秋元泰朝が都留郡知行の間ににおける事績の顕著なものについて述べたいと思います。

泰朝は父長朝の「天狗岩用水」の例にならい、水田の開発と谷村城下町の整備を計り、寛永十三年(一六三六)田原の佐伯橋の付近から桂川の水を取り入れ、農民と一体となり、約二ヶ年半を費やして「谷村大堰」を完成しました。

昭和六十年十二月「谷村大堰顕彰碑建設委員会」は大堰の取入口付近に「谷村大堰の碑」を建て、祖先のふる里づくりの偉業を後世に伝えました。その碑文に、

「水ある所に人住み人として文化の華を開く 寛永十三年秋元泰朝は領民と心を合せ桂川の水を十日市場の滝上より取り入れ十六年



日光東照宮境内照尊院に祀る秋元泰朝の墓

谷村大堰を完成し後世に残した

大堰は家中川寺川中川女川に分れ上下谷村深田四日市場古川渡の田畑を潤しその急流は精穀織機の動力源となり清流は地域住民の生活用水となった 城下町として知られた谷村は水の都と称せられ市民の大堰より受けた恩恵は物心両面において誠に甚大である 古里つくりには尽力した祖先の芳名に感謝しその偉業を永く後世に伝えるため有志相計り茲に谷村大堰の碑を建設するものである」と刻んであります。

また泰朝は家康公の側臣(近く仕える家臣)としての深い関係から、將軍家光から日光東照宮社殿の大造替のための普請奉行を命ぜられました。

『東照宮関係年表』によると、「寛永十一年(一六三四)十一月東照宮社殿大造替に着手、同十三年四月社殿大造替成る」とあり、僅か十六ヶ月の間に世界に誇る人工の粋を尽した精巧華麗な日光東照宮が完成しました。

泰朝は永く東照宮に仕えるため、日光の坊(僧侶の住居)を南谷に移し、寺領百石を寄進し、院号を以て寺号を照尊院としました。院の境内に泰朝の墓が祀られてあります。

寛永十三年泰朝は、上吉田の浅間明神に、竹内宮良親王親筆の「三国第一山」の額を奉納しました。